Vol.95　実戦を想定した際の演奏を考えてみる　～その 5～

では、『10 分トレ』vol.95、始めていきましょう。

引き続き、“Just the two of us”を題材にしていきます。

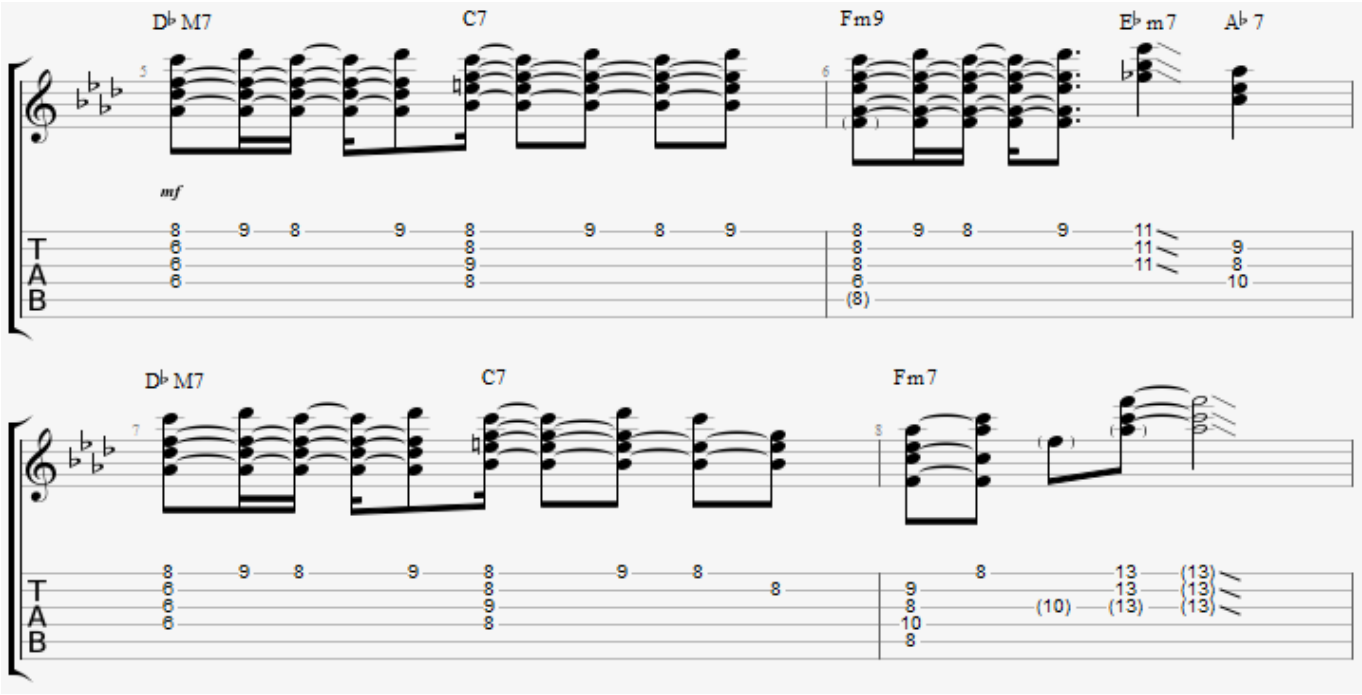
※youtube 原曲リンク
(万が一リンク先が削除されている場合は、曲名で検索してみて下さい)
Grover Washington Jr - Just the two of us
↓↓
https://youtu.be/WOuI4OqJfQc

それで今は、鍵盤がいない場合を想定しているので、ギターである程度厚みを出してやりたいわけですね。

前回は、イントロ 8 小節の内、前半の 4 小節のプレイを考えたので、次は後半を見ていきましょう。

実際の所、前半と同じ様なプレイでも構わないのですが、せっかくなので鍵盤がやっている演奏を再現してみましょう。

譜例 1、Just the two of us 、イントロ 5 小節目～、プレイ案



この弾き方ではコードのベース音をほとんど鳴らしていませんが、イントロ 5 小節目からはベースが入ってきているので、この程度でも十分だったりします。

Copyright (C) 2017 shunichi onuma All Rights Reserved

ピック弾きも可ですが、指弾きでも良いですね。

鍵盤が居ない時に、ギターでこう言ったカラフルなプレイが出来ると、喜ばれる事が結構あります。

イントロ全体としては、前回の様な弾き方で統一するも良し、今回の様な弾き方で統一するも良し、前後半で切り替えても良し、です。

この後、楽曲は同じ進行でAパートに入っていくわけですが、そこで自分はどういったプレイをするか？考えてみましょう。

コード・チェンジに合わせて棒弾きでも良いのですが、鍵盤が居ないのであれば、もう少し動きを付けても良いですね。

ただ、闇雲に音を出しまくったり、強いカッティングでチャカチャカやると雰囲気を壊す可能性があります。(※他パートが何をやっているか？や、バンド全体がどうなっているか？にも寄るのですが)

ちなみにB&Cパートは、基本的には原曲を参考に演奏すると良いでしょう。
(※ちなみに全体のコード進行はググると沢山出て来ます)

では、今回は以上になります。

ありがとうございました。

大沼

Copyright (C) 2017 shunichi onuma All Rights Reserved